

製品名: KLHL1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80898**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | ICC,ELISA |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---------------------------------------|
| 希釈倍率 | ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 82kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---------------------------------|
| 遺伝子名 | KLHL1 |
| 別名 | MRP2; FLJ30047; KIAA1490; KLHL1 |
| 遺伝子 ID | 57626.0 |
| SwissProt ID | Q9NR64 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現したヒト KLHL1 の精製された組み換え断片。 |

背景

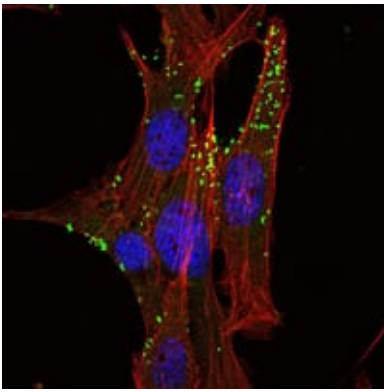
哺乳類の Kelch like 1 (KLHL1) は、当初、ショウジョウバエの Kelch 遺伝子の相同遺伝子として発見されました。KLHL1 は、様々な脳組織で高発現しています。KLHL1 の予測されるタンパク質ドメイン構造は、アクチンに結合し、二量体を形成し、しばしばアクチ

ン形成タンパク質として機能する、複数のタンパク質の特徴を示しています。神経変性疾患である脊髄小脳失調症 8 型 (SCA8) 患者の脳組織において、KLHL1 の転写・翻訳開始部位と最初のスプライス部位にまたがるアンチセンス RNA の存在が示唆されています。このことから、KLHL1 がこの疾患に関与しており、KLHL1 タンパク質の調節がアンチセンス RNA の発現によって影響を受ける可能性が示唆されています。組織特異性: 脳で高発現しています。

研究分野

-

画像データ



KLHL1 マウス mAb (緑) を用いた NIH/3T3 細胞の免疫蛍光染色。赤: アクチンフィラメントを Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識。